

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

課題名③ スマートフラワー導入によるスプレーギク産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	6	1	0	・球根類作付減についても取り組みが必要では。 ・ゆり、グラ等の作付け減、農家減対策、花の島の継続的な振興を。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	5	2	0		
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	5	2	0		
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	5	2	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	5	2	0		
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	4	3	0		
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	4	3	0	・生産段階(品種・電照時間・ボリューム)でのスマートへの取り組みを早急に確立してほしい。 ・資材コスト6割削減は素晴らしい。農家の所得向上に寄与している。 ・とてもいい取り組みでした。今後も他の品目も取り組んでほしいです。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	4	3	0		

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

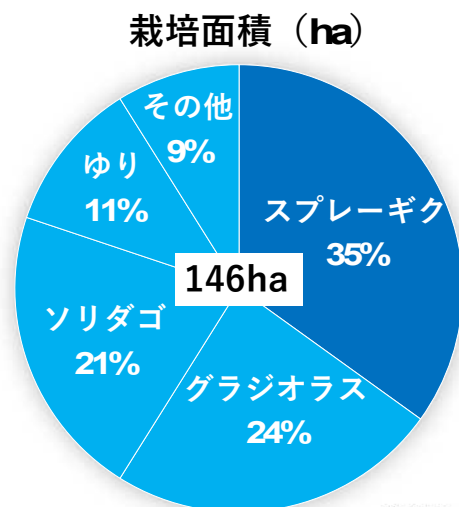
課題名③ スマートフラワー導入によるスプレーギク産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	11	1	0	・出荷コスト低減、廃棄ロス、生産者、業者等にも良いと応じた。 ・品目毎でスマートフラワーが難しいとの事。花品目がすべてにおいて取組みが出来ればと思います。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	11	1	0	・比較対象があり、削減した金額が明確など分かりやすかった。また産地の為に積極的に活動していると感じた。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	11	1	0		
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	11	2	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	10	2	0		
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	10	2	0	・切り花の長さについては種類ごとにニーズの違いから応用できるものとできないものがあることかと思いますが、箱や鮮度保持資材、スリーブなど花き全般に展開できるものも多いと思いますので、沖永良部・与論地区で広めていっていただきたいです。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	10	2	0		
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	10	2	0	・今後の電照期間の短縮は、栽培期間の短縮→生産費用の短縮になるのでこちらも続けて継続してください。 ・経費の削減と環境負荷が低減をされており、すばらしいが、生産選別時点をスマート(短く)にするための作業などは増えていないか？また、グラジオラスも長さ選別で規格が多いが、規格を減らすことで同様の取組とならないか検討を。	・引き続き、来年度の普及指導計画においても産地育成課題を重点活動として関係機関と連携して取り組むこととしている。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	10	2	0		

スマートフラワー導入による スプレーギク産地の育成



大島支庁沖永良部事務所農業普及課
市来 佑悟

沖永良部島の花きの概要



産出額 (円)

花き合計：25億円

スプレーギク：
8.1億円 (32%)

出典：令和6年度奄美農林水産業の動向より

支援対象の概要

沖永良部花き専門農協菊部会
(県内唯一の花の専門農協)

- ・ 令和6年度部会員数：28名
- ・ 令和6年度生産額：約6億2,839万円
- ・ 令和6年度出荷本数：約1,180万本
- ・ 販売先：関東 (40%) , 東北 (30%) ,
関西, 九州 (30%)

現状・課題



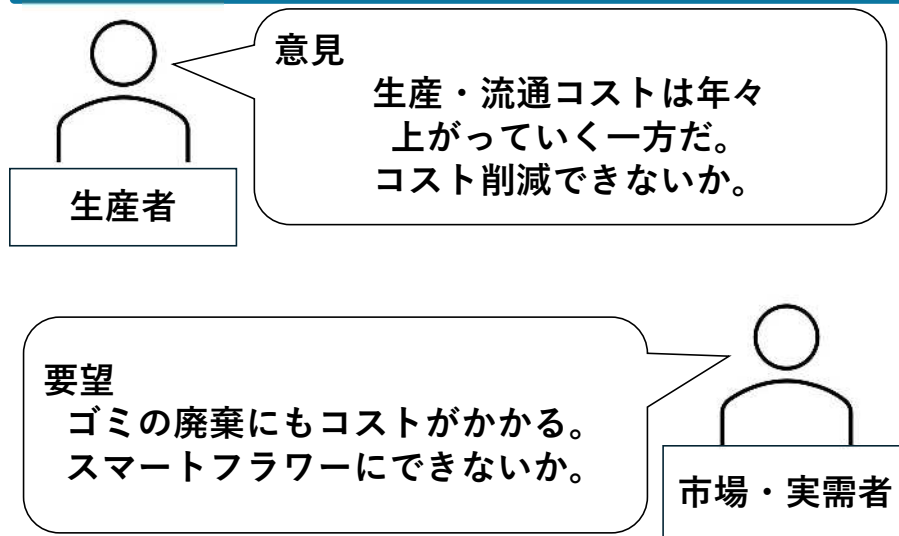
●コスト面

- ・ 資材価格上昇
- ・ 燃油価格高騰
- ・ 2024年問題

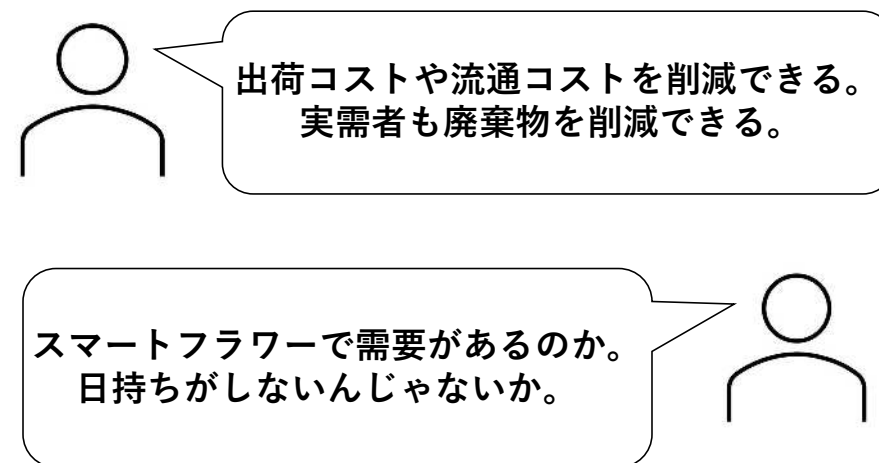
●品質面

- ・ 市場に届くまでの日数
(例) 関東まで3日間
- ・ 梅雨期や夏期における
輸送時の葉の蒸れや萎れ
- ・ 台風や季節風による
船の欠航や抜港

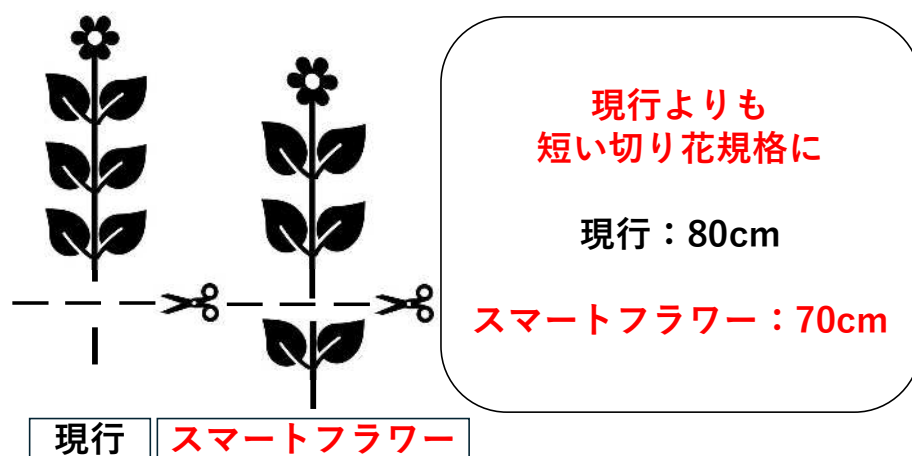
現状・課題



現状・課題



スマートフラワーとは



目標

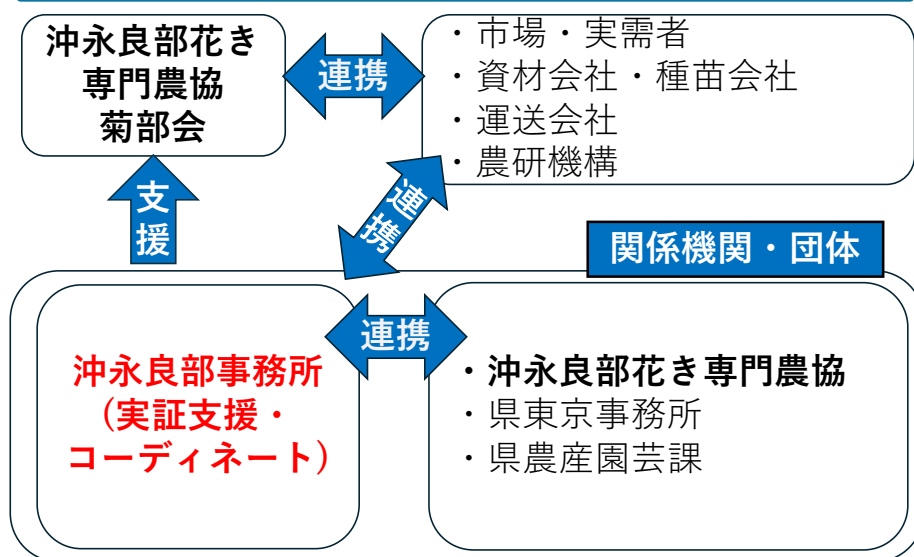
スマートフラワーの導入（実証支援）

- 実需者のニーズへの対応かつ出荷コストの削減
- 鮮度保持対策

スマートフラワーの認知拡大（コーディネート）

- ◇スマートフラワーの需要確認
- ◇スマートフラワーの理解促進

普及活動体制



切り花長や脱葉範囲の検討



規格	脱葉範囲
左：現行	15cm
中：スマートフラワー	15cm
右：スマートフラワー	35cm

・スマートフラワーの規格は現行と比べて

①切花の品質・日持ちは同程度

②出荷用コンテナあたりの

積載量 1.2倍増加

運賃コスト 1.2円/本削減

・脱葉範囲の検討

①どの区も品質・日持ちは同程度

出荷規格：70cm
脱葉範囲：15cm

目標に向けた取り組み

スマートフラワーの導入（実証支援）

- 切り花長や脱葉範囲の検討
- 出荷箱の検討
- 鮮度保持資材の検討
- スリーブの有無の検討

スマートフラワーの認知拡大（コーディネート）

- ◇フェアの実施（実需者，消費者向け）
- ◇シンポジウムの実施（島内生産者，実需者向け）

出荷箱の検討



・出荷箱のコンパクト化
出荷箱が1箱(100本入り)
あたり約20円(約1割)削減

・留め具の比較
SDGsに配慮し、のりづけ加工のものに変更

鮮度保持資材の検討



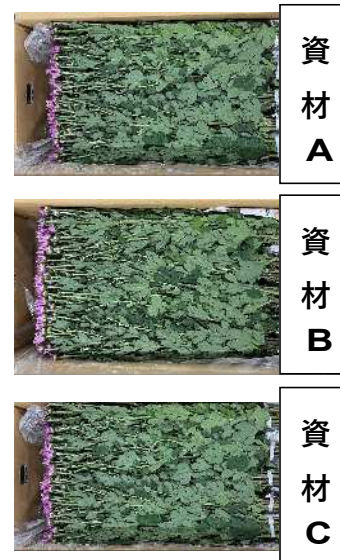
・鮮度保持資材の検討

- ①開封時、資材A
使用区は鮮度が維持
- ②新聞紙使用は葉が
やや萎れ気味
- ③水揚げ後、どの区も
品質・日持ちは同程度



資材Aを導入！

鮮度保持資材の検討（コスト低減）



・鮮度保持シートの検討

- ①開封時の評価
資材A＞資材C＞資材B
- ②コスト面
資材C＞資材A



**資材Cを導入！
資材コストを約6割に！**

スリーブの有無の検討



・スリーブの検討

- ①スリーブ無でも花の傷みはなし
- ②実需者はスリーブ不要との意見
- ③スリーブ資材4.5円/枚かかる



スリーブを廃止！

出荷コストの削減効果

スマートフラワー導入前後の比較 1本当たりの経費

出荷資材代	－0.30円
運賃（積載率向上）	－1.20円
計	－1.50円



10a当たり約6万円の削減！

※4万本/10aとした場合

目標に向けた取り組み

スマートフラワーの導入（実証等支援）

- 切り花長や脱葉範囲の検討
- 出荷箱の検討
- 鮮度保持シートの検討
- スリーブの有無の検討

スマートフラワーの認知拡大（コーディネート）

- ◇フェアの実施（実需者、消費者向け）
- ◇シンポジウムの実施（島内生産者、実需者向け）

スマートフラワーフェアの実施

ホームセンター（株）カインズの約60店舗で実施
（仲卸業者大田フレッシュフラワーズと連携）



スマートフラワー
でも販売は好調

購入してすぐ
そのまま飾れる

沖永良部フラワーシンポジウムの実施

- ・沖永良部島和泊町で実施
- ・島内の花き生産者・島外の輸送・販売業者など約90人が参加し、スマートフラワーや輸送対策の意見交換を行った。



スマートフラワーシンポジウムの実施

- ・フラワー需給マッチング協議会主催
- ・全国のスプレーギク生産者、市場、実需者（加工業者、資材会社、花屋等）とディスカッション



沖永良部花き専門農協が
全国に先駆けたスマート
フラワー全量出荷の取組
について紹介

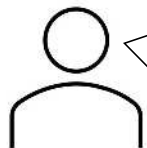
普及活動の成果（まとめ）

- ①全国初のスマートフラワー産地
- ②出荷コストの削減（約6万円/10a）
- ③従来よりも安定した品質による出荷

今後の普及活動

- スマートフラワーに対応した栽培技術の検討
適した品種選定
電照期間の短縮
- 他品目の出荷方法改善の検討
トルコギキョウ
クルクマ

生産者の評価



生産者

- ・生産・流通コストが上がっていくなかコスト削減ができて良かった。
- ・鮮度保持資材を導入し、輸送中の切り花品質が安定し、信頼性の高い出荷が可能になった。

ご清聴ありがとうございました。